

## 令和6年度第2回神栖市子ども・子育て会議 議事録

**1 日時** 令和6年10月22日（火） 午前9時30分～11時

**2 場所** 神栖市保健・福祉会館 本館2階 研修室

**3 出席者** 26人

（1）委員 11人

浅田清美、増田真理子、細田峰彰、安藤伸泰、山田正人、安藤美穂  
柳舘勝美、土井みゆき、本山一江、澤田直子、浅野明海

（2）事務局 15人

### 4 次第

（1）開会

（2）委嘱状交付

（3）市長あいさつ

（4）委員長、副委員長選出

（5）案件

議案第1号 神栖市子ども・子育て支援事業計画（第3期）骨子案について

（6）その他

（7）閉会

### 4 会議内容

#### （1）委員長、副委員長選出

当日参加委員の承認を受け、次のとおり選出。

【委員長】 平島 幸子

【副委員長】 安藤 伸泰

#### （2）議案第1号 神栖市子ども・子育て支援事業計画（第3期）骨子案について

事務局から、資料に基づき説明が行われた。

次のとおり、委員からの質問・意見等が出た後、承認された。

【委員】

私、幼保連携型認定こども園の施設長をしています。近年配慮の必要なお子さんが非常に多くなっています。現状は、この資料のアンケートにもありますが、職員の確保が難しいという現実問題があるなかで、今後どういうふうにお子さんたちと関わっていくかということが非常に課題となっています。そこで、やはり我々保育施設と行政がしっかりと連携して、早い段階から対応できるような体制をぜひとも行政側で検討してもらえればと思います。

【事務局】

保育士の確保は、公立も同様に難しい状況です。現実的に保育士のなり手が少なくなっている、現場の大変さなど、いろいろな要因があって離職する方もあります。女性が多い職場なので、結婚などを機に一時期現場を離れるなどもあります。保育所ならではの人材確保の難しさを感じているところです。実施している施策としては、保育士確保や保育士の資格を持たない人材に対しての補助金があります。また、有効な施策がないか検討しております。

【委員】

確かに保育士の確保はたいへんで、市にも調整いただき、ありがたく思っています。それと、もう1つ、配慮が必要なお子さんが増えてきている現状で、職員不足の中で果たしてサポートできているのか、日々保育している中で不安・疑問に思うことがあります。配慮が必要なお子さんに対しての行政のサポート体制がもう少しうまくいかないかと思っておりますので、課題と捉えていただいて、検討をお願いします。

【委員】

今回のアンケート調査を実施して、神栖市の特徴が見えてきているのであれば、教えていただければと思います。

【事務局】

計画案作成の進捗に従い、確認していきます。